

I 自己評価

1 学校教育目標	1 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 2 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 3 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇第3学年	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・家庭との連携は、「通信やHP等を用いて情報を伝えている」が生徒57%→68%、保護者 58%→74%で増加しているが、「連絡文章等を届けている」は生徒 91%→88%で減少しており、生徒への徹底が不十分であると思われる。 ・進路指導については、「進路ガイダンスを実施し、生徒の可能性を引き出そうとしている」が生徒・保護者とも85%であり、ほぼ昨年と同じであったが、十分ではない。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇進路意識を高め、進路実現に向け意欲的に取り組む。 ◇生徒一人一人にあった自立を目指す。 ◇社会で通用するルールやマナーを身につける。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・学年団の連携 ・進路指導部との連携指導 ・生徒指導部（教育相談含む）との連携指導 ・学科・コース・系列との連携指導	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 就職・進学ガイダンス (2) 就職・進学希望者面接練習 (3) 卒業発表会に向けての取り組み (4) 一般常識テスト (5) 朝読書と朝学習	(1) 就職・進学希望者全員の進路決定 (2) 面接評価表 (3) 学校行事での生徒の様子 (4) 常識テスト・定期考査・成績・出欠状況 (5) 生徒の意識・行動	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・学年集会の実施 ・身なり指導の実施 ・一般常識テスト（週一）の実施 ・朝学習・朝読書（毎日）の実施 ・紫翠祭への取り組み ・卒業発表会への準備 ・学年通信の発行	①生徒の進路を実現するために学年団と進路指導部が連携を取りながら指導できたか。 ②社会人としてのルールやマナーを身に付けさせたか。 ③最終学年として卒業に向けて生徒の意識向上が図れているか。	A B C D A B C D A B C D
11 成果・課題	○就職希望者に対して、進路指導部、学科やコース・系列と連携をとりながら、生徒個々の持ち味を生かした進路実現に取り組ませることができた。進学希望者に対しても、生徒の興味関心を生かしながら、進学先の内容や自己の能力に応じた指導をすることができた。 ▲一般常識問題を毎週行ったが、一般常識や社会的なモラルがなかなか高まらなかった。また、最高学年としての意識もまだまだ十分とは言えない。	
12 来年度に向けての改善方策案（学校評価アンケートを踏まえて）		
・各部・科などと一層の連携を図り、個々に応じたきめ細かな指導で生徒の進路実現を援助していく。 ・学年集会・LHR等で社会人としてのルールやマナーを考えさせ、学校の美化のために学年として取り組む。 ・卒業までしっかり学校生活を送ることができるよう、卒業発表会などの学校行事に計画的に取り組むとともに、授業を大切にしよう、学年団として働きかけをする。		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年2月8日

【意見・要望・評価等】

・就職も進学も定着がとても重要である。内定や合格後の学習がしっかりできるような指導体制を作っていくとよい。